

対象商品が **3割引** 在勤・在学含む **村民限定** 令和3年 **3月15日(月)**まで

#いいもの お買い物、お食事、サービスなども!

とうかい I ~MOの割引キャンペーン

村では、村民が通常価格の3割引きで、買い物や飲食、生活関連サービス等が受けられる「とうかい I ~ MOの割引キャンペーン」を実施します。店舗により割引キャンペーンの開始日・終了日が異なりますので、詳細は、本紙に併せて配布する折り込みチラシ「とうかい I ~ MOの割引キャンペーン参加店舗一覧」をご覧ください。

【問い合わせ】産業政策課商工担当(☎282-1711 内線1269)

【参加店舗の2次募集をしています!】

募集期間▼令和3年1月15日(金)まで ※2次募集店舗のキャンペーン開始は1月25日(月)以降となります。

対象となる要件▼▽村内に店舗等を有する、小売業、飲食業、建設業、理容・美容業などのサービス業▽中小企業である(中小企業信用保険法第2条第1項に該当)

▽チェーン店またはフランチャイズ店でない—の全てを満たす事業者 ※個人事業主がフランチャイズ形式で営む場合は対象となります。

その他▼申請方法など詳細は、お問い合わせになるか村公式ホームページをご覧ください。

ふるさと歴訪



〜自然を探して〜

「コナガエノアカカゴタケ」の再発見

慶應義塾大学准教授

糟谷 大河

近年、村松海岸の新川河口付近では、沿岸流により砂が運搬される沿岸漂砂が発生し、海岸線に砂が堆積する傾向にあります。そして、砂が堆積してできた砂浜には、コウボウムギやネコノシタなどの海浜植物が分布を広げています。その一角で、今年11月、村内在住で村松海岸の海浜植物の保全活動をしている橋本明子さんによって、「コナガエノアカカゴタケ」(小長柄赤籠茸、スッポウタケ科)というキノコが発見されました。

このキノコは、未熟なときは砂地の地中に埋まるように発生し、直径2センチメートルほどの白色の卵形です。成熟するにつれて、卵形の頂部から柄と頭部が伸長します。柄は薄紅色のスポンジ状で高さ10センチメートル、直径2センチメートルほどの円筒形です。柄の上部には、桃色で網目をもった籠形の頭部を付けます。また頭部には、暗緑色で粘質の胞子の塊が付着します。この胞子の塊はふん臭を発生し、昆虫などを誘引することで胞子を分散させていると推測されます。



【再発見された「コナガエノアカカゴタケ」(村松海岸にて橋本さん撮影)】

コナガエノアカカゴタケは、村松海岸では2005(平成17)年から2006(平成18)年に発見例がありますが、それ以降の記録はなく、今回、およそ14年ぶりの発見となりました。橋本さんが発見したキノコは乾燥気味でしたが、新鮮な状態の典型的な姿の写真は「東海村の自然誌II」などに掲載されています。

コナガエノアカカゴタケは、国内では茨城、千葉、静岡、愛知などで発見されており、県内では東海村とひたちなか市で発見された記録があります。このキノコは、海浜植物が繁茂する砂浜に特異的に発生しますが、そのような環境が国内では減少しているため、絶滅の恐れがあり、環境省レッドリストでは絶滅危惧II類に、茨城県版レッドリストでは絶滅危惧I類に指定されています。

今回の再発見は、常陸那珂港の建設や東日本大震災など、さまざまな要因により目まぐるしく変化してきた村松海岸の砂浜に、ひっそりと、しかし力強く生き抜くキノコの姿があることを、私たちに語り掛けてくれるものでありました。